

令和2年12月8日開催 令和2年第4回箕面市議会定例会総務常任委員会での質疑応答

NO	質問事項	回答
1	アウトソーシングにより職場を失う職員への処遇はどのようにするのか。	事務職の場合は通常の人事異動の中で次の配属先が決まりますが、特定の技術や技能を持つ職員については、その職員の持つ知識や技術、経験を活かすことができる職場への配属を検討していきます。とはいえ、そういった配属先にも限りがあるため、職員の定年退職や再任用満了までの年数を管理しながら、計画的かつ段階的にアウトソーシングを行っていきたいと考えています。
2	ごみ収集委託の拡大について、これまで全てを民間に委託してこなかった理由は。	現在のごみ収集委託について、民間委託75%、市直営25%という状況です。これまで民間委託を進める中では、災害時対応などを課題として、一部直営を残してきました。今後民間委託を拡大する際には、民間委託業者との間で災害時の協定を結ぶなど、課題を残さない方法で進めていきます。
3	ごみ収集委託の拡大について、本当に全てを民間に任せてしまっているのか。公は責任を持たないということか。	手法が変わるだけで、市が事業主体であることは同じであり、市がごみ収集に責任を持たないということではありません。

令和2年12月21日、22日開催 令和2年第4回箕面市議会定例会本会議（第2日、3日）での質疑応答

NO	質問事項	回答
1	アウトソーシングの実施にあたり、職員定数適正化と効果額を示した上で、年次計画を早急に策定すべきと考える。	今後、アウトソーシングを実施する事業、その業務に従事する職員の配属先、定年もしくは再任用満了までの年数などを踏まえながら、具体的な年次計画を今年度内に策定すべく、検討を加速化させていきます。
2	新アウトソーシング計画に関する市の考え方、効果、進め方について問う。	<p>「民間でできることは民間で」の方針のもと、「公権力の行使に関すること」、「政策形成に関すること」以外の業務で、効果・効率性が向上すると思われるものはすべてアウトソーシングの可能性があるとし、再度、事業の見直しを行い、その結果、ごみの収集委託の拡大、学校校務員委託や学校事務センターなどの事務関係の委託化により約1億円以上の効果額を見込むとともに、環境クリーンセンター、公立幼稚園廃止や公立保育所民営化拡大などで約2億円の効果額を見込んでいます。</p> <p>今年度末までに「新アウトソーシング計画」の策定をめざしており、計画策定にあたっては、市民の皆さまへの影響を検証し、職員の定数管理も踏まえながら、検討を深めていきます。</p>

令和2年12月16日開催 市民説明会での質疑応答

NO	質問事項	回答
1	<p>新アウトソーシング計画を今後策定することだが、一旦策定した後に見直しはあるのか。新型コロナウイルス感染が拡大している状況で説明会に来れない人もいるので、落ち着いたら何回でも説明するべき。改革プランの内容が全然知られていない。プランの策定後に説明会、市民の意見を聞いて練り直すことはあるのか。</p>	<p>新改革プランについては、令和3年1月8日までパブリックコメントを実施し、意見を受け付けています。意見を反映し、令和3年1月末には方針として決定する予定です。改革の柱1～5の具体化はこれから検討していきます。新アウトソーシング計画は令和3年3月末の策定としていますが、引き続き各関係者、保護者と議論、説明しながら検討を進めていきます。</p>